

幌 内 布 引 ア ー ト プ ロ ジ ェ ク ト

閉山から 20 年、山奥に眠る布引立坑跡
空前絶後の大公開！

2009
9/20(日)～11/3(火/祝)

※上記期間中の土、日、祝日のみ公開

11:00～15:00

1時間ごとにビジターセンター出発
(1日5回限定)

観覧無料

やま きおく
炭鉱の遺産を掘り起こす

#2

幌内布引 アートプロジェクト



メイン会場 北炭幌内炭鉱 布引立坑跡 上遠野敏 & 札幌市立大学美術部 noumenon

北炭幌内炭鉱は、北海道最初の近代炭鉱として開発され、1879（明治12）年から閉山の1989（平成元）年まで、その歴史は世紀を超える。数ある坑口の中で布引坑は、1917（大正6）年に開削された深さ297mの立坑で、その後半世紀にわたり主力坑口として活躍した。1967（昭和42）年の幌内立坑完成によって、入坑口から坑内排気へと役割が変化した。1975年に幌内立坑直下で発生したガス爆発事故では、その復旧作業に欠かすことのできない存在であった。1970年代後半には沢を埋めていた炭鉱住宅もほとんど姿を消し、1983年の坑内合理化によって立坑は役割を終えた。閉山時に主要施設は撤去されたが、開削時に建設されたレンガ・コンクリート合築の巻上機械の建物や、坑口から排気扇風機に至るコンクリート風洞が、今でも残っている。上遠野敏と札幌市立大学美術部 noumenon（ノメノン）が、幌内炭鉱半世紀の歴史を記憶した空間を活かして作品を制作をする。

ビジターセンター（総合案内所） 中央町 SARD

二つの川が合流する幌内中央町は、今でもここ何もないが、沢を炭住が埋め尽くしていた往時は、まさに幌内の「中央」にふさわしい賑わいの場所であった。なかでも、二つの沢からの道の交差点には、炭鉱の人々の出入りを見張る監察員詰所が置かれていた。幌内の炭鉱遺産活動に係わってきた札幌のクリエイター集団SARDが、その要衝の地に、ビジターセンターとしての空間を創造する。

関連エリア 炭鉱景観公園、幌内市街地、鉄道記念館、アートミュージアム

ビジターセンターから布引立坑とは別の沢を上流部に向かうと、広大な選炭機跡の敷地に坑口や大正時代の変電所などが残っている。ここは、2001年から続けられている地道な市民活動によって、幌内炭鉱景観公園として巡回できるように整備されている。さらに下流部に向かうと、昭和初期の名残を残した幌内市街地、北海道での鉄道発祥の地にちなみ鉄道記念館、幌内中学校の校舎を活用したミカサ・モダンアートミュージアムなど、見どころが多数ある。

開催日は、9月20日（日）～11月3日（火/祝）の土曜・日曜・休日のみ
観覧ご希望の方は、必ずビジターセンターで受付をして下さい。
ビジターセンターからメイン会場までは集団で移動します。
ビジターセンター出発時間は 11:00～15:00 の毎時00分発です（一日5回限定）。

危険防止のため、個人ではメイン会場に入場できませんのでご注意ください。
足場が悪い箇所もありますので、スニーカーとジーンズのような歩きやすい靴・服装でお越し下さい。
メイン会場を中心とする道有林内は禁煙です。
メイン会場・ゲートセンターには、トイレがありません。クロフォード公園・三笠鉄道記念館の駐車場トイレをご利用下さい。

上遠野敏（かとおのさとし） アートディレクター



1955年生まれ
東京芸術大学大学院彫刻専攻修士課程修了
札幌市立大学デザイン学部教授。
札幌駅南口モニュメント設置（2000）
「北日本の5人作家達」ドイツ・ハンブルグ総合芸術館カンパナゲル（2001）個展、「KATOUNO Satoshi "SIROTAE"」ドイツハンブルグCAI（2003）、「北の創造者たち展 虚実皮膜」芸術の森美術館（2003）、札幌コンベンションセンター開館1周年企画「Beautiful Japanese Heart Project」アートディレクター（2004）FIX・MIX・MAX！北海道近代美術館（2006）FIX・MIX・MAX！2ギャラリー門馬（2008）

赤平炭鉱アートプロジェクト2004
「地下の天使は地上で羽を脱ぐ」

札幌市立大学美術部 noumenon（ノメノン）



2007年結成。札幌市立大学デザイン学部生20人の美術集団。地域とのコミュニケーションを大切にし、美術制作やデザインを行っている。
2008年札幌三井ビル仮囲いデザイン、札幌地下鉄東西線キャンパストレイン、RISING SUN ROCK FESTIVAL 2008 KIDS GARDEN 制作、札幌アートステージ500m美術館柱10本インスタレーション
牛田美穂、織笠見彦、川内優加、木村尚史、倉本祥平、富田香代子、成田彩子、畑山愛実、福田翼、磯川亮太、石崎佑美、伊藤里菜子、太田耕平、工藤寛子、桜井亜美、佐藤文香、萩原拓矢、山根春菜、平野大地、山本倫子

上:Sapporo Art Stage 500m 美術館
下:札幌三井ビル仮囲いデザイン

SARD（サード：札幌地域デザイン研究会）



1997年に札幌市立高等専門学校リカレント講座に集まったクリエイターを中心に結成。ランドスケープアーキテクト、土木デザイン、映像、彫刻、グラフィック、CG・パース、地域づくりで活動中。
1998年、第4回札幌国際デザイン賞入選、2000年「R453芸術の森地区まちづくりへの提案」パネル展、2006年、札幌芸術の森「ART BOX 2006」出展。空知地域では2004年の幌内変電所におけるインスタレーション「電気エレキ光展」をはじめ、線路の灯では「ズリ山の灯」を担当。

浅見和司、梅村守、北村有樹士、酒井裕司、嶋田健一、町谷浩幸、松田建夫

会期日程

日	月	火	水	木	金	土
9/20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	10/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
11/1	2	3				

関連展示

11月27日（金）～12月8日（火） アートスペースCA102（札幌市）
12月10日（木）～12月27日（日） NPOマネジメントセンター（岩見沢市）

お問い合わせ

そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター
http://www.soratan.com
☎0126-24-9901
（岩見沢市1条西4丁目3 / 10:00～18:00 / 火曜休）

チラシデザイン：木村尚史、織笠見彦、福田翼、倉本祥平